

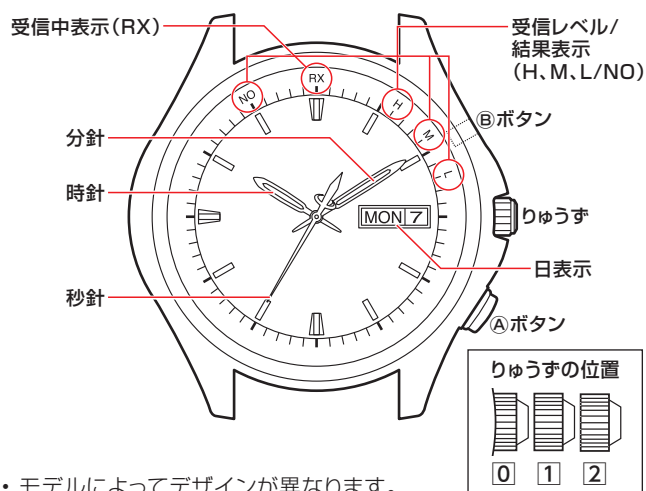
# H10\* 簡易操作ガイド

・この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。

・充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。

 H100~H109 / H10A / H10B取扱説明書

## 各部の名称



・モデルによってデザインが異なります。

## 受信結果を確認する

・この時計は、日本の標準電波を毎日午前2時に受信し、時計 / カレンダーを自動で合わせます。午前2時に受信できなかったときは、午前4時に再度受信を試みます。

### 1. ①ボタンを押す

秒針が、受信結果 (「H」「M」「L」または「NO」) を指します。

表示	受信結果
H	非常に良い環境で電波を受信中または受信したとき。
M	良い状態で電波を受信中または受信したとき。
L	良くない状態で電波を受信中または受信したとき。
NO	受信に失敗したとき。 (手動で受信を行ってください)

- ・モデルによって、秒針の「先の部分」で指すものと「尾の部分」で指すものがあります。
- ・「H」、「M」、「L」の表示は、受信環境の適性を示すもので、時計の受信性能には関係はありません。
- ・受信結果を表示して10秒間経過すると、自動で時刻表示に戻ります。①ボタンを押すと、すぐに戻ります。
- ・電波を正しく受信しても、受信環境や時計内部処理により、時刻表示にわずかなずれが生じます。

## 電波を手動で受信する(強制受信)

・受信が完了するまでに、2分から15分程かかります。

### 1. りゅうずの位置を①にする

### 2. ①ボタンを2秒間以上押し続ける

秒針が「RX」を指し、電波受信を始めます。受信が終了すると、秒針が通常の動きに戻ります。

受信に成功した場合: 修正された時刻を表示します。

受信に失敗した場合: 時刻は修正されず、現在の時刻に戻ります。

・受信を中断したいときは、①ボタンを2秒間以上押し続けます。

## 時差機能を使う

時差を設定することで、時刻合わせをすることなく、他の地域の時刻を表示させることができます。

・日本時間を基準に、±27時間の範囲(1時間単位)で時差を設定します。

### 1. ②ボタンを押す

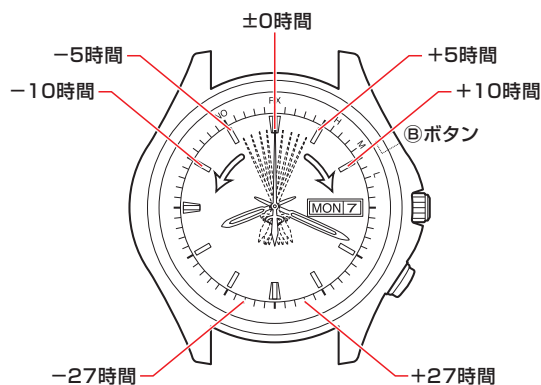
秒針が現在の時差設定を指します。

### 2. りゅうずを回して、時差を設定する

・秒針が0秒を指しているときに、時差±0です。

### 3. ②ボタンを押す

・何も操作しないで60秒間経過すると、自動で時刻表示に戻ります。



## 時刻を手動で合わせる

### 1. りゅうずの位置を②にする

秒針が0秒を指します。

### 2. りゅうずを回して、分と時を合わせる

時計は分針と連動して動きます。

・りゅうずを素早く回転させると、分針が連続して動きます。りゅうずを少し回すと止まります。

・日表示が切り替わったときが午前0時です。午前/午後を間違えないよう注意します。

### 3. 時報に合わせて、りゅうずの位置を①にする

秒針が動きはじめます。

## カレンダーを手動で合わせる

- この時計のカレンダーは、うるう年を含む2100年2月28日まで、修正不要です。(パーペチュアルカレンダー)

### 1. リゅうずの位置を①にする

現在設定されている年と月が、秒針で表示されます。

### 2. リゅうずを回して、日表示を合わせる

### 3. ④ボタンを押す

曜が合わせられるようになります。

- ④ボタンを押すごとに、「曜」→「月と年」→「日表示」と修正対象が切り替わり、曜、秒針、日表示がそれぞれ動いて修正対象を示します。

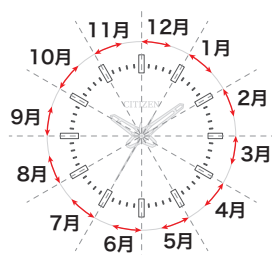
### 4. リゅうずを回して、曜を合わせる

### 5. ④ボタンを押す

年と月が合わせられるようになります。

### 6. リゅうずを回して、月と年を合わせる

- 月は、時刻の「時」の範囲で示されます。

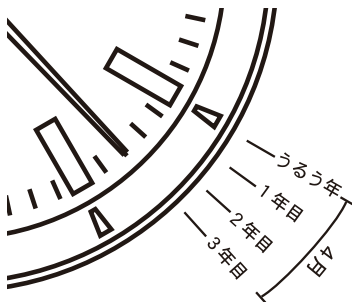


- 年は、うるう年からの経過年数で表示され、各月の範囲内の秒針の位置で示されます。うるう年からの経過年については、サポートの「仕様・機能購入」から、うるう年経過年早見表をご参照ください。  
<http://citizen.jp/cs/guide/index.html>

(例)2015年4月に合わせるときは

4月→4時の範囲

2015年→うるう年から3年目



- リゅうずを素早く回転させると、秒針が連続して動きます。リゅうずを少し回すと止まります。

### 7. リゅうずの位置を②にする

現在の時刻に戻ります。

## 基準位置を確認する

### 1. リゅうずの位置を②にする

### 2. 秒針が高速で動き始めるまで、⑥ボタンを5秒間以上押し続ける

各針 / 表示が動き出し、現在の基準位置が表示されます。

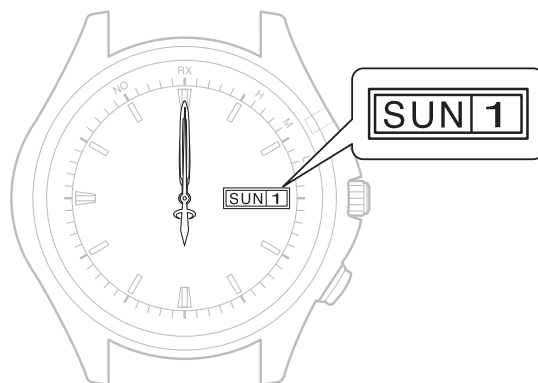
#### • 正しい基準位置:

- すべての針が12時位置、
- 日表示が「1」、
- 曜表示が「SUN」

現在の基準位置が正しい基準位置と異なるときは、「基準位置を修正する」に従って、基準位置を修正します。

### 3. ⑥ボタンを押して、確認を終了する

時刻表示に戻ります。



## 基準位置を修正する

### 1. リゅうずの位置を②にする

### 2. 秒針が高速で動き始めるまで、⑥ボタンを5秒間以上押し続ける

各針 / 表示が動き出し、現在の基準位置が表示されます。

### 3. 運針中にリゅうずの位置を②にする

日表示の基準位置が合わせられるようになります。

### 4. リゅうずを回して、日表示を「1」に合わせる

- リゅうずを素早く回転させると、日が連続して回転します。少し回すと止まります。

### 5. ④ボタンを押す

曜表示の基準位置が合わせられるようになります。

- ④ボタンを押すごとに、「曜表示」⇒「針」⇒「日表示」と切り替わります。修正対象が、左右に動きお知らせします。

### 6. リゅうずを回して、曜表示を「SUN」に合わせる

- リゅうずを素早く回転させると、曜が連続して回転します。少し回すと止まります。

### 7. ④ボタンを押す

時針、分針、秒針の基準位置が合わせられるようになります。

### 8. リゅうずを回して「0時0分0秒」に合わせる

- リゅうずを素早く回転させると、各針が連続して回転します。リゅうずを少し回すと止まります。
- 秒針、分針、時針は連動します。

### 9. リゅうずの位置を②にする

### 10. ⑥ボタンを押す

各針と日表示、曜表示が高速で時刻表示に戻ります。